

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 4 月 30 日 (2024.4.30)

【公開番号】 特開 2022-163727 (P2022-163727A)
【公開日】 令和 4 年 10 月 26 日 (2022.10.26)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-197
【出願番号】 特願 2022-109359 (P2022-109359)
【国際特許分類】

A 63 H 33/00 (2006.01)

A 63 H 33/22 (2006.01)

【FI】

A 63 H 33/00 303A

A 63 H 33/00 P

A 63 H 33/22 A

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 4 月 18 日 (2024.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

玩具本体部と、

前記玩具本体部に設けられた回転操作入力部と、

前記回転操作入力部への入力を検出する検出部と、

前記検出部で検出した回転入力操作が連続回転操作入力であるかどうかを判定する判定部と、

前記判定部で連続回転操作入力であると判定した回転操作入力の回数を加算することで、
回転操作入力の連続回数を計数する計数部と、

前記計数部で計数した連続回転操作回数に基づいて所定の演出を出力する演出出力部と、

を備える、演出出力玩具。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の演出出力玩具において、

前記演出出力部は、前記計数部で計数した連続回転操作回数が所定の回数以上であるときと、当該計数部で計数した連続回転操作回数が当該所定の回数未満であるときとで、出力する演出内容を異ならせる、演出出力玩具。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の演出出力玩具において、

回転操作入力部は、回転部を含む、演出出力玩具。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の演出出力玩具において、

前記検出部はスイッチであり、前記回転部の回転に応じて前記スイッチがオフ状態からオン状態に変化することで、前記回転操作入力部への入力が行われる、演出出力玩具。

【請求項 5】

請求項 3 または 4 に記載の演出出力玩具において、

前記検出部は、押圧スイッチとして前記玩具本体部の内部に設けられ、

10

20

30

40

50

前記回転部は、円盤状であって前記玩具本体部の前記内部側に入力用突起を有し、
前記回転部の回転に応じて前記入力用突起が前記押圧スイッチを押圧することで、前記
回転操作入力部への入力が行われる、演出出力玩具。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の演出出力玩具において、
円盤状の前記回転部の径方向における中心を挟んで対向する位置に設けられた 2 つの前
記入力用突起を有する、演出出力玩具。

【請求項 7】

請求項 3 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の演出出力玩具において、
前記回転部の前記玩具本体部側とは反対の外側の表面の縁近傍にマークが設けられてい
る、演出出力玩具。

10

【請求項 8】

請求項 3 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の演出出力玩具において、
前記回転部の前記玩具本体部側とは反対の外側の表面には、前記回転部が回転している
ことを視認可能とするマークが設けられている、演出出力玩具。

【請求項 9】

請求項 7 または 8 に記載の演出出力玩具において、
前記マークは、操作入力位置を規定する凹凸部である、演出出力玩具。

【請求項 10】

請求項 3 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の演出出力玩具において、
前記回転部は、中心軸に沿う厚さ方向において厚さが比較的大きい第 1 部分と、前記第
1 部分よりも厚さが小さい第 2 部分とを有し、

20

光透過部である前記第 2 部分は、前記回転部の周縁部から、前記回転部の中心部に向か
って弧を描いて延在し、

前記光透過部と、

前記玩具本体部と前記回転部との間に設けられ、前記回転部の周縁部に対向する位置か
ら、前記回転部の中心部に対向する位置に向かって弧を描いて延在する貫通孔を有する内
部プレートと、

前記玩具本体部に設けられ、前記玩具本体部の内部側から前記内部プレートと前記回転
部とに向けて発光する発光部と、

30

を備えた発光機構を含み、

前記回転部を回転させることにより、前記光透過部と前記貫通孔との重なり方が変わる
ことで、前記発光部から前記光透過部に照射される光が、前記回転部の中心部側から周縁
部側へと広がっていくように、または、周縁部側から中心部側に動いているように見える
、演出出力玩具。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の演出出力玩具において、
平面視において、複数の前記光透過部により構成される第 1 渦巻と、複数の前記貫通孔
により構成される第 2 渦巻とは、渦を巻く向きが逆である、演出出力玩具。

【請求項 12】

40

請求項 10 または 11 に記載の演出出力玩具において、
前記光透過部は、前記回転部の前記玩具本体部の内部側の凹部により構成されている、
演出出力玩具。

【請求項 13】

請求項 10 ～ 12 のいずれか 1 項に記載の演出出力玩具において、
前記回転部の前記玩具本体部側とは反対の外側の表面には、凹凸により形成された形象
物で構成される模様設けられ、

前記模様は、前記光透過部が弧を描いて延在する方向に沿って延在している、演出出力
玩具。

【手続補正 2】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

一実施の形態における演出出力玩具は、操作入力部と、前記操作入力部への入力を検出する検出部と、前記検出部で検出する第1操作入力と、前記第1操作入力の次の第2操作入力との時間間隔を計時する計時部と、前記計時部で計時した時間間隔が所定の第1時間未満であることに応じて、前記第1操作入力と前記第2操作入力とを連続操作入力であると判定する判定部と、前記判定部で連続操作入力であると判定した操作入力の回数を加算することで、操作入力の連続回数を計数する計数部と、前記計数部で計数した連続操作回数に基づいて所定の演出を出力する演出出力部と、を備える。また、一実施の形態における演出出力玩具は、玩具本体部と、前記玩具本体部に設けられた回転操作入力部と、前記回転操作入力部への入力を検出する検出部と、前記検出部で検出した回転入力操作が連続回転操作入力であるかどうかを判定する判定部と、前記判定部で連続回転操作入力であると判定した回転操作入力の回数を加算することで、回転操作入力の連続回数を計数する計数部と、前記計数部で計数した連続回転操作回数に基づいて所定の演出を出力する演出出力部と、を備える。

10

20

30

40

50